

たくましさ  
育つ次代を  
背負う子等

毎日5分間 授業のあいまに走っています 〈榊浜小〉

第 12 号

昭和58年 2月25日 発行  
 榊浜コミュニティセンター  
 運営協議会 広報部  
 ☎ 25-2002

榊浜の人口 (2月1日現在)	0才~14才男	782人	15才~24才男	487人	25才~59才男	1,850人	60才~男	497人	計 男	3,616人
合計 7,373人 (2,378世帯)	女	736人	女	456人	女	1,894人	女	671人	女	3,757人

# こんな団体です

## —こんな活動をします—

### 櫛浜婦人会

三十六年の歴史をもつ櫛浜婦人会、三十六支部、会員、一五二六名、年費、二〇〇円

五十七年度重点目標

- 一、家庭教育を振興し、たくましい防長つ子を育てよう。
- 二、すすんで社会参加をし、よりよい社会を築こう。
- 一、家庭で充分話しあい、交通事故を防止しよう。
- 一、国際的視野に立ち、資源とエネルギーを大切にしよう。

年度ごと、当初の事業計画をもとに、教養、社会、生活、事業、レクリエーションと部制をもって、月一回の支部長会を開催しております。

婦人ならではの、つかめない、体験をもとに、地域に果す役割など共に考え実践することを話しあっています。さらに青少年問題、「よその子も叱る運動」などにも幅広く取り組み、家庭生活の向上と、婦人の自覚を高め「明るい家庭づくり」が婦人会に寄せられる大きな期待もあり、チームのようにも思っています。活動の一つ、資源ゴミ回収事業



1/31 資源ゴミ回収事業

業も、子供たちに物を大切にすることを、親が身を持って示し、ゴミ減量につながる小さな注意であり、最大の行動なのです。一昨年は十万余りでコミュニティかるたを作りましたが、次回は郷土史を出版するための資金づくりにと張り切っています。

ひとりでは、なにも出来ません。だからこそ、このかたまり、地域婦人会が必要なのです。未組織の地域の方々も加入して頂き、手をたずさえて「ふれ合いのあるまちづくり」をと念じています。

### 櫛浜体育振興会

櫛浜の皆さんこんにちは。当櫛浜体育振興会も発足以来十五年を経過し多少マンネリ化したきらいもありますが順調に発展しております。これもひとえに皆様方の御理解御協力の賜、と深く感謝しております。紙上をかりて厚く御礼申し上げます。特に近年各地区共体力づくり、健康づくり、にと各種スポーツが非常に盛んになっております。当振興会も次の目的・事業によって年間行事をいろいろと計画しております。地区の皆様方も自分の体力年令に感じたい行事には一人でも多く参加して下さいますよう御案内とお勧めを致します。尚皆さんおなじみの「振興会だより」は次回より「コミュニティだより」と併刷して発行することいたします。浅田和彦名編集長の今後の記事に期待しております。

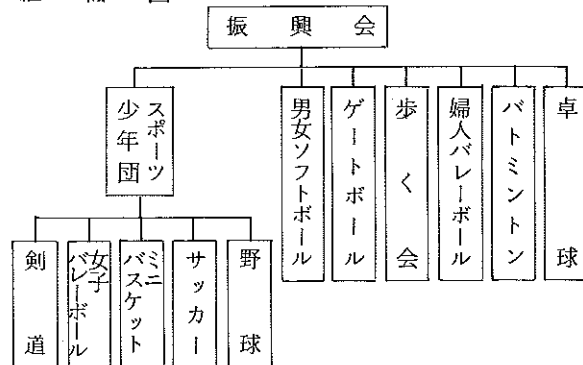
(目的)

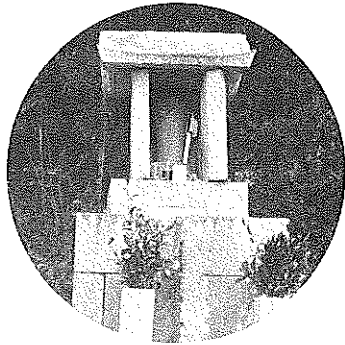
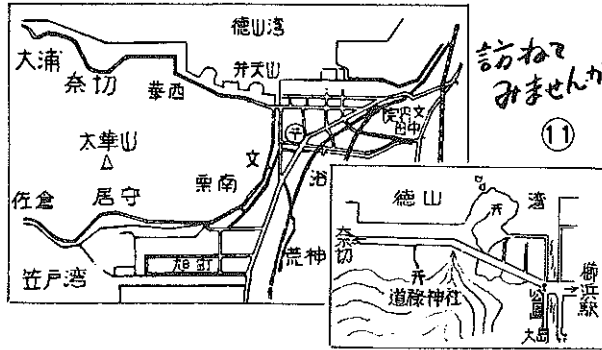
本会は、地区民体育の普及、振興をはかり地区民相互の親睦に寄与することを目的とする。

(事業)

- 一、地区民体育の向上に関する方策の調査研究。
- 二、市民及び各種団体の実施する体育に関する諸施策に対する協力。
- 三、体育施設の拡充整備の計画及び実施。
- 四、体育に関する各種行事の実施及び指導。
- 五、体育の洗練啓発及び指導奨励。
- 六、その他本会の目的達成に必要な事項。

組織図





### 道祿神社

堀川を渡り、弁天山を過ぎると、霊峰太華山が迫り小踏の人家が散見する、その左手の丘に道祿神社がある。祠のある丘より弁天岩を眼下にして、コンビナートと鳥々の浮ぶ徳山

湾が美しく展望出来る。一名、足神様とも云う。昔一人の行者が全国遍歴の途中当地で足を病み遂にこの地で死亡した。その行者が私が死んだ後、足で難儀する人を必ず助けようと云い残した。これで里人が明暦元年（1655年）道祿神社を祀り又足神様として信仰したと伝えられ、以来今日までお参りが絶えない。太華山にハイキングの折は先ずこの足神様にお参りして登山すると不思議に効果があるようです。

(横浜郷土史研究会)

訪ねてみませんか

“歩こう運動”  
西村 文子 殿  
(浴)



“歩こう運動”  
山本 文 治 殿  
(浴)



“小さな親切運動”  
磯村 忠 殿  
(東本町三)

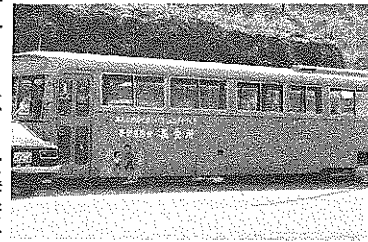


写真の方々が表彰されました。今後共地区のため、ますますの活躍をお願いいたします。

おめでとうございます

奈切地区は旧徳山鉄板で栄え、現日新製鋼周南製鋼所の設立によって消滅?…旧社宅集会所等は全部解体され、現在個人もちの家が十六世帯全く過疎化してしまいました。そこでなんとか自分達の力で集会所を、との発案がごらんの通りの大型観光バス改装のミニ集会所です。昨年十二月完成早速コケラ落しに楽しく忘年会もやりました。又、来る選挙の役票所もこのバスの中と決定致しました。バス利用の投票所日本で奈切だけでは…総工費九〇万円、地元負担三〇万円、市補助金六〇万円。十六世帯のふれあいの場として大いに活用されることでしょう。

### ユニークなミニ集会所



奈切自治会

① がんばってます

### 「みんなで草取り」

「コミュニティ」

西磯町自治会

私達の自治会で、がんばっていることといえば毎月一回の公園の清掃ではないでしょうか。西公園が出来てから十年以上西浦町、西浜町と三自治会共同で第三日曜日の朝約一時間草取りや清掃などしながら色々世間話に花を咲かせています。これも思えばコミュニティ活動の一環として役立っていると思います。これからも続けていきますので地区の皆様のご協力をお願い致します。

「皆様お願いします」  
粗大ゴミなどは公園の付近には出さないようよろしく願っています。  
おせ  
大人も子どもも  
郷土の美化に 手をつなぎ



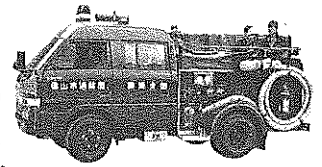
北から南から

# サイレンならすな火の用心



近火信号	3秒(サイレン) 2秒(木)	(6回位)
山林火災信号	5秒(サイレン)	6秒(木)
水害火災信号	3秒(サイレン) 2秒(木)	( )
演習信号	15秒(サイレン)	6秒(木)
火災警報発令	30秒(サイレン)	6秒(木)

新車登場!!



ごぞんじですか 知っておきましょう 非常サイレン

## 行事予定

- 2.27 第26回地区卓球大会 (横浜小)
- 3. 1 新1年生一日入学 ( " )
- 2 東部小学校PTA研修会(コミュニティセンター)
- 3 学習発表会1.2.3年生 (横浜小)
- 4 " 4.5.6年生 ( " )
- 5 献儀運動(予定) (公民館前)
- 6 第11回県少年剣道錬成大会 (小郡町)
- " 周東地区サッカー少年団体親睦柳井大会 (柳井市)
- 11 小学校お別れ遠足
- 15 太華中学校卒業式 (太華中)
- 17 婦人会社協役員施設慰問 (白鳩学園他)
- 19 小学校卒業式 (横浜小)
- 23 新入生一日入学 (太華中)
- 25 小・中学校保護者会 (横浜小、太華中)
- 26 小・中学校終業式 ( " " )
- 30 婦人会総会 (コミュニティセンター)
- 未定 横浜地区こども会  
ジュニアリーダー宿泊研修  
" スポーツ少年団入退団式(コミュニティセンター)  
" 歩く会

ありがとうございました

- 図書「クオレ」他1冊 栗南一  
子ども学習百科29冊 中磯町 碑田  
学習子ども百科16冊 浅田 武夫殿  
コーヒーカップ5客 弁天町 西村 信夫殿  
コーヒーカップ5客 高橋 正行殿  
コーヒーカップ5客 秋穂殿



西磯町 浜田静江さん(41才)

### お母さんの読書感想文

コンクール八回目入賞

運動をするよりも、テレビを見るよりも本が好き。数々の入賞の陰には努力の他にお子さんのはげましがあつたそうです。

ひかえめな言葉の中にも読書量の多さを感じます。一時中断されていた点訳のボランティアも又、始めたいそうで、仕事と両立なされる秘めたるバイタリテイの持主。一年に一度、県内各地の読書仲間と会うことを楽しみとし、「美しく年を重ねていくこと」が希望とか。すてきなお母さんです。



### ジャンボレモン実る!!

峠 兼重富治さん宅



## センター利用状況

室名	利用回数	利用人員
シルバールーム	47	614
集会室	17	821
和室	32	509
会議室	20	331
調理室	25	550
児童室・学習室	7	245
ロビー	17	154
計	165	3,224

## お知らせ

- ◆ 落しもの 次の物品に心あたりの方は公民館まで。(電二五〇五二二)
  - ・ カシオの時計(男もの)
  - ・ 赤いチェックのマフラー
  - ・ 現金
  - ・ ピンクの毛糸手袋
- ◆ 拾得場所はすべて、新春登山の太華山頂です。
- ◆ 58年度新成人
  - 男子 47名
  - 女子 43名
 (一時的な転出者は含まれていません)
- ◆ 成人式典に欠席された方は、記念品が支所に届いております。58年元日
- ◆ 新春歩け歩け大会
  - 太華山頂大盛況
  - 登山者 二五〇〇余名
  - 名物太華うどん 一六〇〇食、たちまち売り切れ、ご協力ありがとうございました。

## 編集後記

暖冬のせいか、カゼが大流行ノしかし、もう春ですネ。次号から、新紙面を企画したいと思います。あなたの作品をお寄せ下さい。絵画・作文・写真・俳句等、何でも結構ですV みんなでつくろう コミュニティくしがはま

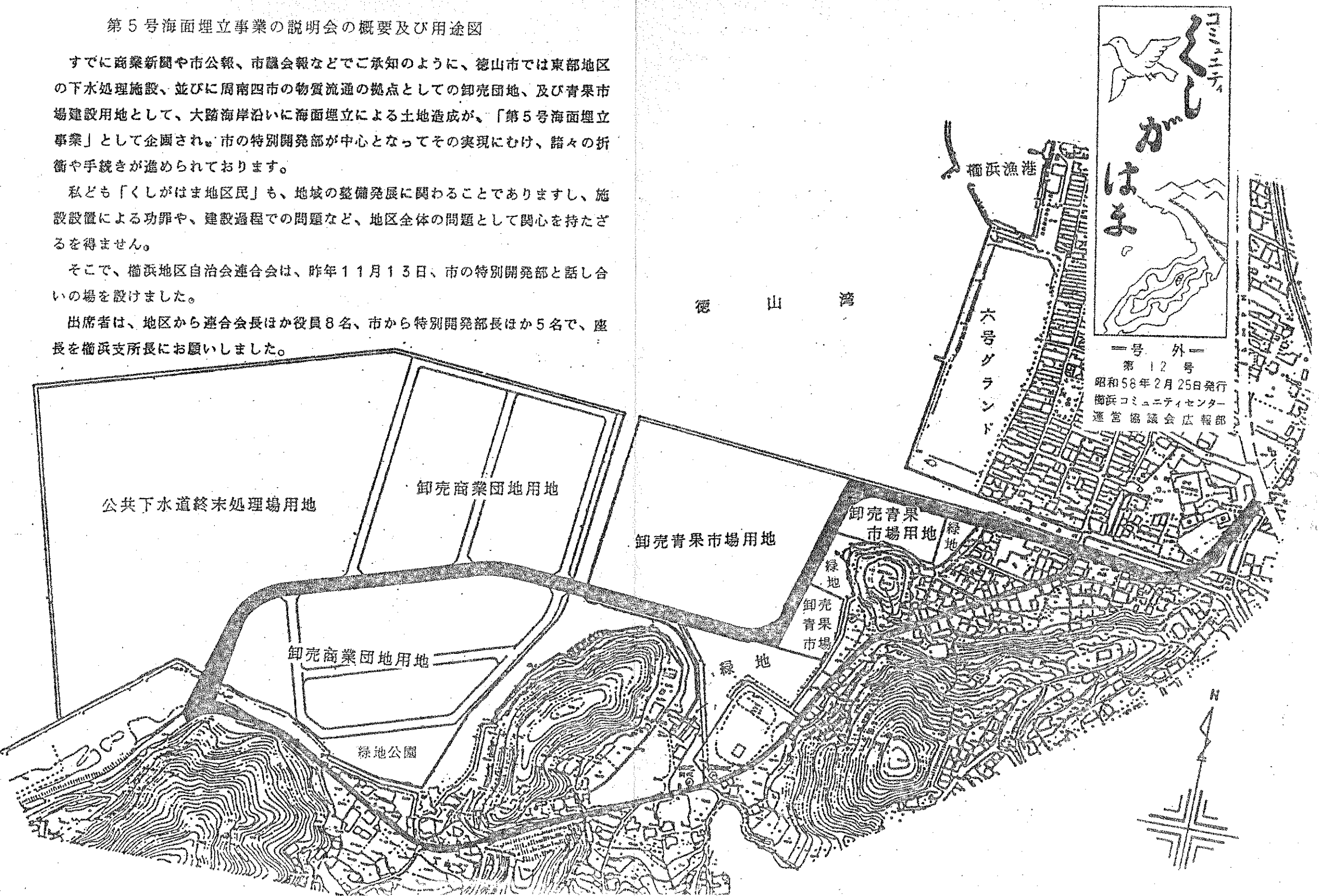
第5号海面埋立事業の説明会の概要及び用途図

すでに商業新聞や市公報、市議会報などでご承知のように、徳山市では東部地区の下水処理施設、並びに周南四市の物質流通の拠点としての卸売団地、及び青果市場建設用地として、大踏海岸沿いに海面埋立による土地造成が、「第5号海面埋立事業」として企画され、市の特別開発部が中心となってその実現にむけ、諸々の折衝や手続きが進められております。

私ども「くしがはま地区民」も、地域の整備発展に関わることでありますし、施設設置による功罪や、建設過程での問題など、地区全体の問題として関心を持たざるを得ません。

そこで、榑浜地区自治会連合会は、昨年11月13日、市の特別開発部と話し合いの場を設けました。

出席者は、地区から連合会長ほか役員8名、市から特別開発部長ほか5名で、座長を榑浜支所長にお願いしました。



—号 外—  
第 12 号  
昭和58年2月25日発行  
榑浜コミュニティセンター  
運営協議会広報部

## 会長あいさつ

5号埋立の計画発表があつて以来、市から説明がないので地区住民から問い合わせがあつても何ら答えられない。役員が何も知らないでは困るので、今日は担当部長以下に説明を受けることにした。よろしく願ひする。

## 支所長あいさつ

会長のあいさつにあつた事情でこの説明会を開催したわけですが、市も議会の関係上説明できないこともあると思うが、すでにマスコミで発表されたことなど、出来る範囲で、これまでのこと、これから検討することを話してもらつと、皆さんも納得されると思うのでよろしく願ひする。

## 経過説明 一 市側

### 1. 埋立計画及び埋立必要理由について

このたび市は「緑と活力のあるまちづくり」をしたいということで、議会にもはかり、当面緊急度の高い5つの大きな施設の中で、下水処理場、卸売団地及び市場、青果市場の3つを造るため、大踏の地先約12万坪を埋立させていただくものです。処理場については、まちの中、特に東部の環境をよくする目的です。現在市の中心部は晴海の処理場で処理していますが、それ以外は西も東も処理できていないわけです。今度計画する東部処理場は、生活雑排水やし尿など、一度使った水はまとめて処理場へ集め、雨水は別の管でひき最寄りの川に流すという分流式を採用します。

卸売団地及び市場については、市内に点在する卸売業者の営業上の車の搬入に伴う交通阻害や、営業活動自体も、交通混雑や倉庫と営業所がはなれているので、流通機構も思わしくない。そこでこういう業者が1ヶ所に集まれば営業活動も順調で、附近の住民にも迷惑をかけなくてすむのではないかとここでここに卸売団地を考えたものです。なお、移転した跡地は、今後の町づくりに利用する計画です。

青果市場については、徳山市の現在の公設市場は周南4市の拠点として稼動していますが、面積は狭く、最近非常に取扱量も増えているため市場の機能がマヒしており急場をしのぐため隣接の材木市場を移転して、そこに暫定的な売場を造る状態です。これを何とか機能が発揮できる場所に移転することで、ここに計画したものです。

### 2. 地元への説明について

この計画を進めるにあたり、地元の理解と協力が必要であり、市は施設に近接した自治会から順次説明会を行い、それを外に広げてゆく努力をしています。大踏、小踏、鼓ヶ丘の各自治会には一応説明し、了解を得ましたが、多少意見もあり全部が全部ではありません。堀川、弁天地区は一度説明しましたが、取付道路が変更になったので

取付道路に関する権利者の方々に主旨説明をし、要望や意見を集約しているところです。

説明の方法、順序について、先に自治会に説明してから、権利者にあたるべきだという意見と、権利者を先にしたあと、周辺の方に説明した方がよいという意見があります。これまで前者の方法で行ったところ、権利者から強い不満がでたので、この点を配慮して、堀川、弁天地区及びその他の地区についても、権利者にある程度の理解を得て、周辺の自治会へ移る考えです。

### 3. 取付道路のルート変更について

当初、堀川の右岸、左岸と、山側を通る3つのルートを検討したとき、この道路が埋立地内施設の専用道路的なものから、地区の方に迷惑の及ばないところを選定の一番の主眼としましたので、山側を通る案を考えて、ボーリング等の調査をさせていただきました。その結果、山の中にある岩盤12,000M<sup>3</sup>を取除く必要があり、これを砕くには削岩機を使用しますが、非常に高い騒音が出ますしこれを1日4台使っても120日位の日数がかかります。日曜を考えると6ヶ月以上もかかるので、付近の方のご了解を得ることが、第1の難点です。第2には道路に埋設する、水道、ガス、ケーブル等の配管が岩盤にあたるので難しいこと、第3には、山の頂きまで法(ノリ)を切るので、維持管理が難しい。以上のことから山側ルートは断念しなければならない状況に至り、右岸、左岸のどちらがよいか検討しました。

右岸の方は、堀川樋門遊水池の改修が難しいこと、埋立地に至る海岸部沖合の橋を高潮の関係で高くしなければならない。堀川橋地点から次第に高架になり、付近の方の生活環境の問題や、側道の整備をする必要も起ってきます。したがって、左岸の方を利用させてほしいということで議会にもはかり、現在権利者の方々と話し合いを進めているところです。

次に交通対策の一環として、188号線から鍛冶屋川沿いに、徳山、新南陽線、2号線を経て山陽自動車道に至る縦の線を、現在、都市計画課の方で作業を進めています。

### 4. 工程等について

埋立の工期は昭和58年から63年の予定です。各施設については、処理場の用地造成が60年度、供用開始が63年度か64年度、また卸売団地と青果市場の用地造成が63年度で供用開始65年度を目標にしております。取付道路は昭和58年度から着工し60年度の完成を目指しています。

※ 参考資料～埋立平面図・緑地計画図・土地利用表・護岸施工図・取付道路断面図等を説明した。 ◎次号では、質疑応答の概要を予定しています。